

## 年金数理部会セミナー2007の開催について

テーマ：「被用者年金一元化を考える ―法案から見る制度、運営及び財政―」

### 1. 趣旨

被用者年金一元化法案が国会に提出され、一元化後の公的年金の姿が明らかになったが、法案は4つの制度を合わせることになるため、緻密で膨大なものとなっている。本セミナーでは、この法案を元に、制度がどう変わるのか、実際の運営や加入者等への影響はどうか、制度の安定性や加入者間の公平性はどうか、さらに今後の財政とその評価・検証がどうなるのかを考える。また、今回の一元化の考え方やこれまでの統合と今回の一元化の違いについても議論し、今回の制度改正の意義、必要性、特徴、影響などについての理解を深める。

また、これまでの一元化に関し、旧部会を含めた、年金数理部会が果たしてきた役割を振り返り、今後の課題について考える。

### 2. 日時・場所等

日時：平成19年7月24日（火） 13：00～

場所：東京厚生年金会館 地下1階「ロイヤルホール」

### 3. 次第

#### ・基調講演（約1時間20分）

厚生労働省年金局年金課長

堀 勝洋 上智大学法学部教授

#### ・パネルディスカッション（約2時間10分）

座長 山崎 泰彦 年金数理部会長

パネリスト 堀 勝洋 上智大学法学部教授

関 ふ佐子 横浜国立大学大学院国際社会科学研究所准教授

栗林 世 年金数理部会委員

牛丸 聡 年金数理部会委員

熊沢 昭佳 年金数理部会委員